



ありあけ

2022(令和4)年
10月1日(土)

「現実」から吸収したい

校長 前嶋 正秀

先日、Yahoo ニュースでタレントの王林さんのインタビュー記事が掲載されていました。王林さんはスマートフォンをほとんど手にしないそうです。これは一般論ですが、若い人たちの中にはスマホを手放せない人がとても多く、いわゆる「スマホ依存症」が社会的な問題になっている昨今、なぜ王林さんはスマホをほとんど見ないのか？彼女の談話は、「ホントにその通りだよな～」と頷ける内容だったのですが、それは同時に、自分を戒めなければならないということの裏返しでもあります。そこで今月はこの記事に触れることにしました。

若い人だけでなく、現代人全般にとっての必須アイテムとなっているスマートフォンをほとんど見ないこと理由は、端的に言うと「携帯の中で生きる」のがすごくイヤということのようです。例えばゲームに夢中になるとか、インターネットの記事に安易に影響を受ける（おやみに信じる）とか、軽い気持ちで何かのサイトを利用することでひどいトラブルに巻き込まれるとか、SNS を上手に「利用」するのではなく SNS に「支配」されてしまうことで、他人をひどく傷つけてしまうばかりか、時には自分自身も不快な思いに陥ってしまうとか…。例を挙げればキリがなさそうですが、要するに「携帯の中の世界」に捕われることを嫌っているのだらうと思います。

「現実の世界で体験することが吸収したいことだらけ」と王林さんは語っています。とても恥ずかしい話ですが、私はこの談話を読んでハッとしました。私は自分がスマホ依存症だとは思っていませんが、人並みには使います。そのことで知らず知らずのうちに、現実の世界でのリアルな体験からこそ、学ぶことや気づくことが多い、という言わば当たり前のことを見失っていたと感じたのです。

例えばどこかに行って写真を取って、これを SNS に上げるということ、これ自体は何も悪いことではないし、むしろ人によってはこれが貴重な情報になることだってあります。ただ、それよりもその場所にいる人たちを見たり、あるいはその人たちと語ったりするだけで感じられることはありますね。これは携帯の中に閉じこもっては感じられないことです。

私はこの稿で、携帯の弊害について主張しているわけでは決してありません。現代において携帯が非常に便利かつ有益なツールであることは疑う余地はないでしょう。しかし、自分のすぐ近くに吸収したいこと（吸収できること）がたくさんあるのに、携帯をいじっていたら何も入ってこない、何も気づかない、ということは確かにありそうです。

この記事を読んで、携帯との向き合い方を少し変えないといけないなあって思いました。皆さんも、今よりほんのちょっとでもいいので、「リアルな世界に触れる」ことにこだわってみませんか。

9月のご報告

本校ホームページ「最新情報」ページをご覧ください。

【マーチングバンド部】東京都大会

【中高サッカー部】活動報告

【文化祭】9/23(金祝)24(土)、Instagram でご紹介しています。

【高校 2・3 年トラディショナルクラス】社会で働くとは？ 他

広報部では、Instagram (主に受験生向け) を始めました。フォロワー数、約800です。

https://www.instagram.com/kaetsu_kouhou/

かえつ有明公式インスタの先輩は、ドルフィン (情報センター図書館) です。フォロワー数、約900です。

https://www.instagram.com/dolphin_kaetsu_library/

*今後の予定については、急な変更の可能性もありますので、学校からのメール連絡等をよくご確認ください。

次回は11/1(火)発行予定です。(広報部)